

長野市民病院における 「地域がん診療連携拠点病院」 としての機能・体制



長野市民病院
平成21年7月9日

地域がん診療連携拠点病院の機能

1. 診療体制

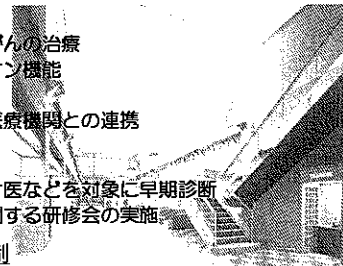
- ①日本に多い5大がんの治療
- ②セカンドオピニオン機能
- ③緩和ケアの提供
- ④診療支援や他の医療機関との連携

2. 研修体制

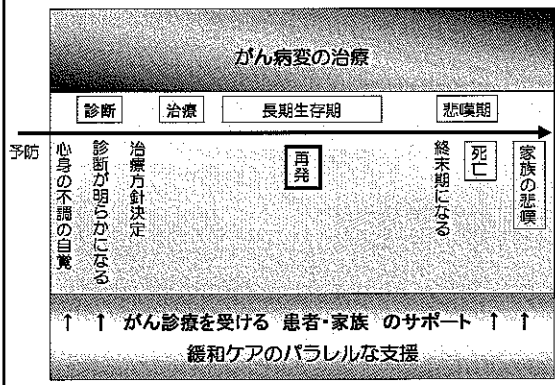
- ①地域のかかりつけ医などを対象に早期診断
- ②緩和ケアなどに関する研修会の実施

3. 情報提供体制

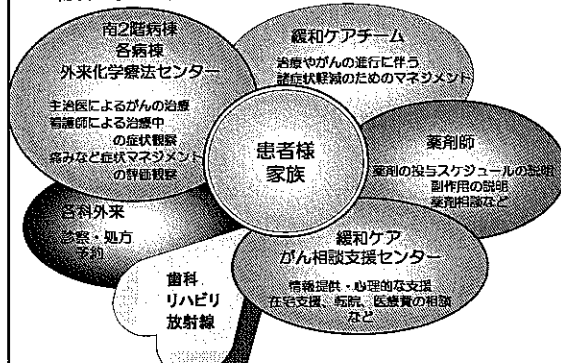
- ①相談支援機能
- ②がん登録



当院のがん診療と緩和ケアの位置づけ



患者様を取り巻く「がん治療」と 「緩和ケア」の連携体制



I. 診療体制



がん診療に携わる有資格者 (21.7.1現在)

- ・がん治療認定医機構がん治療認定医 7名
- ・がん治療認定医機構暫定教育医 8名
- ・日本放射線腫瘍学会認定医 1名
- ・日本臨床腫瘍学会暫定指導医 1名
- ・日本乳癌学会乳癌専門医 1名
- ・日本緩和医療学会暫定指導医 2名
- ・日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科 領域技術認定医 3名
- ・日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定医 1名
- ・緩和ケア認定看護師 2名
- ・がん化学療法看護認定看護師 2名
- ・がん専門薬剤師 2名
- ・日本医学放射線学会認定医学物理士 1名
- ・日本臨床細胞学会細胞検査士 4名

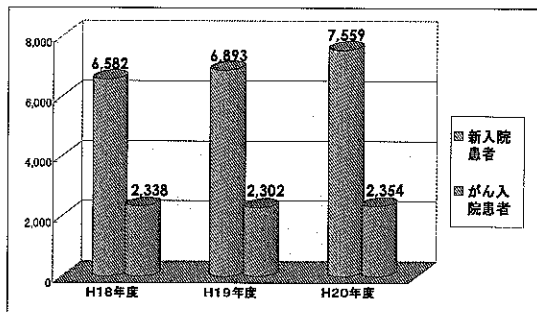
がん診療に携わる有資格者 (21.7.1現在)

- 検診マンモグラフィ読影認定医師A評価 1名
- 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師A評価 2名
(拠点病院指定時の指摘事項)

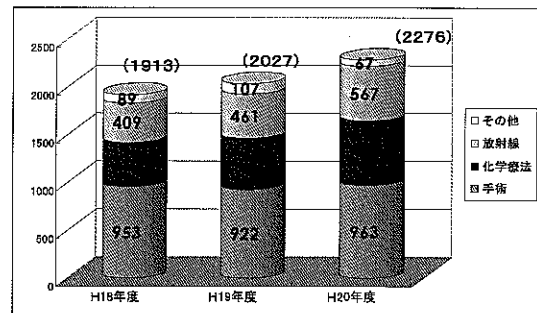
Ⅱ. がんの診療実績



年間入院がん患者数



がん診療実績 (治療別)



カンサーボード

複数の診療科医師による討議→多職種 of 医療者による討議

H20年度

(参加人数)

- 第1回「疼痛コントロールに難渋する後腹膜平滑筋肉腫」 (24名)
- 第2回「胃癌術後8年目に発症した多発性骨転移の一例」 (25名)
- 第3回「29歳女性の肺癌の治療について」 (28名)
- 第4回「局所進行直腸癌とチーム医療」 (33名)

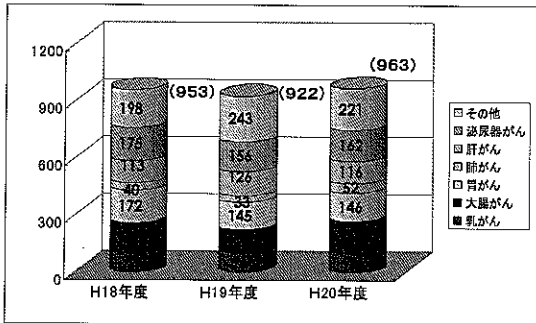
H21年度

- 第1回「右精巣腫瘍、多発肺・リンパ節転移の一例」 (23名)
- 第2回「根治切除困難な高度進行胃癌に対し化学療法が有効した一例」 (24名)
- 第3回「精神疾患を有する外陰癌の一症例」 (37名)

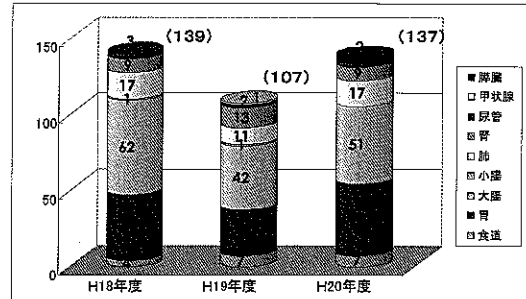
Ⅱ-1. 手術療法



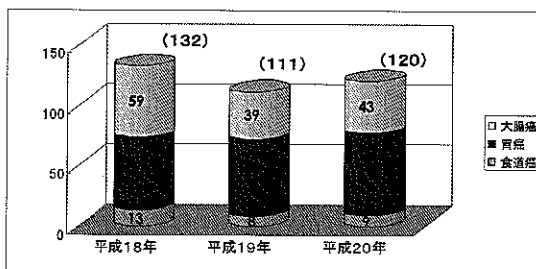
がんの手術件数



体腔鏡下手術の件数



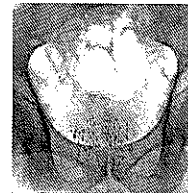
早期癌EMR (ESD) 症例数



泌尿器がんの治療

病院の実力「泌尿器がん」
 医療機関別2017年治療実績
 (2院最新掲載)

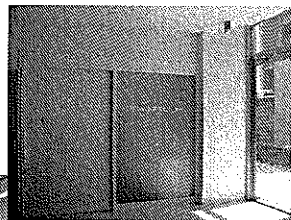
医療機関名	前立腺	膀胱	腎臓	輸尿管	腎臓	その他
鹿野市立	16	10	3	4	0	13
鹿野赤十字	12	32	0	9	53	15
鹿野赤十字と鹿野市立	29	8	0	6	40	6
鹿野赤十字	12	0	0	1	39	12
鹿野赤十字	3	14	0	9	70	8
鹿野赤十字	11	0	0	5	64	2
鹿野赤十字	6	6	0	4	31	8
鹿野赤十字	0	0	0	4	43	0
鹿野赤十字	3	4	0	3	59	9



膀胱小腫瘍

2009年2月1日読売新聞掲載

II-2. 化学療法



レジメン登録

レジメン検討委員会

- (毎月第1または第2水曜日)
- 化学療法レジメンの審査管理
- 委員長：西村秀紀医師
- 事務局：薬剤部
(がん専門薬剤師 2名)

- 登録レジメン数 102件
(H21.7現在)

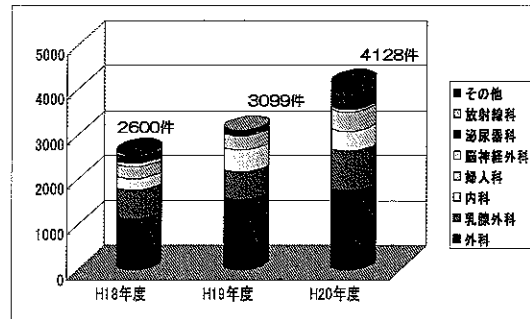
外来化学療法センターの状況

H19.4月「外来化学療法センター」として
新棟第2外来へ移転（15床）

<担当する医療従事者>

- 化学療法に携わる専任の常勤医師 2名
（呼吸器外科統括科長、外科科長）
- 外来化学療法センター専任の常勤看護師 4名
（うち がん化学療法看護認定看護師 1名）
専任の非常勤看護師 2名
- 化学療法に携わる専任の常勤薬剤師 2名
（うち がん専門薬剤師 2名）

外来化学療法センターの実績



II-3. 放射線治療

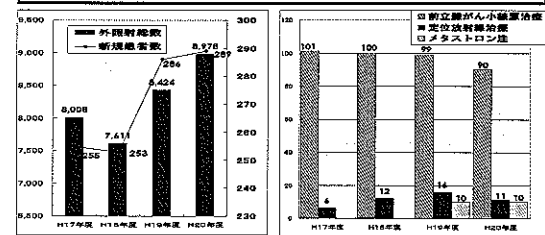


平成22年春にLINACに更新予定

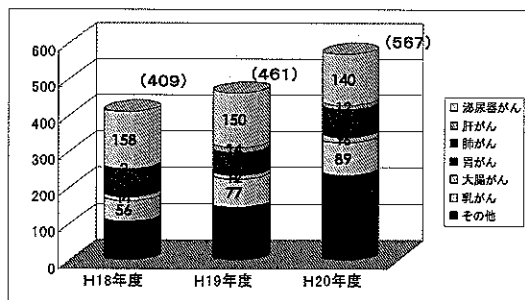
放射線治療室の状況

<担当する医療従事者>

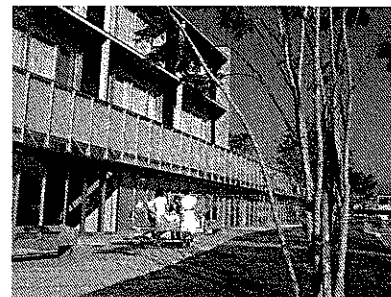
- 放射線療法に携わる専従の常勤医師 1名
- 常勤の診療放射線技師 1名
- 放射線機器の精度管理などに携わる常勤技術者 1名



がんの放射線治療の実績



III. 緩和ケアの体制



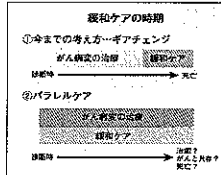
Ⅲ-1. がん診療病棟

南2階（新館）病棟 40床
（がん患者のレスパイト病床含む）

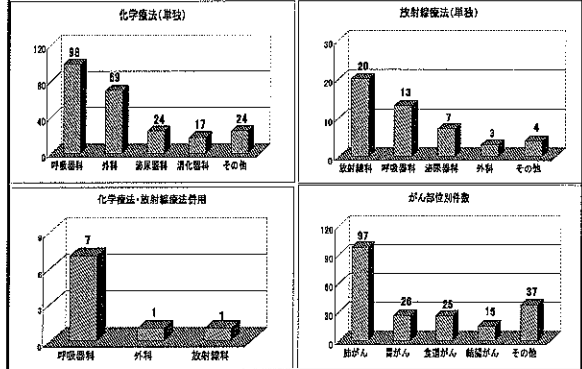
【がん診療病棟設置の目的】
がん治療と緩和ケアを包括的にを行いパラルレルケアを実践し、
患者のQOLを向上させる。

【対象患者】

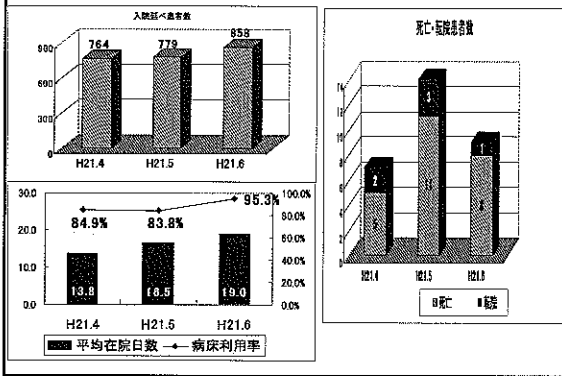
- ①放射線治療
- ②化学療法
- ③痛みを中心とした
症状コントロール



がん診療病棟の実績① (H20.7~H21.5)



がん診療病棟の実績②



平成20年6月 患者さま家族より寄贈された横断

平成21年5月 メディカルモールにて
すまいるサロンボランティア活動の展示

がん闘病の父に贈る花検査
上野野の家庭に
長野市民の
スタッフ協力

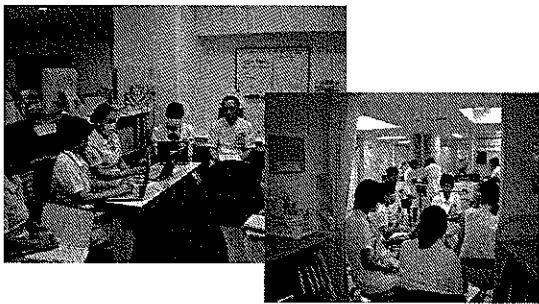
患者家族との
がん診療病棟作り

平成20年7月
患者・家族が参加して
野原を作る

おじさん
生きる力を
もらおうね

平成21年5月1日 医療タイムス

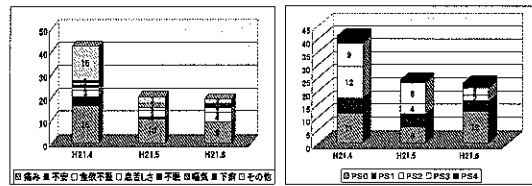
Ⅲ-2. 緩和ケアチームの活動



緩和ケアチームの状況

〈担当する医療従事者〉

- 身体症状の緩和に携わる専従の常勤医師 1名
- 精神症状の緩和に携わる専従の常勤医師 1名
- 緩和に携わる専従の常勤看護師 1名
- 緩和に携わる専任の常勤薬剤師 1名



病棟ラウンド（南2階がん診療病棟を中心に…）

緩和ケア合同カンファレンス
（毎週月・木曜日13:30~14:30）

緩和ケア外来（完全予約制）
-火・木曜日：緩和ケア内科 身体担当
（※患者さまの病状等により随時診察）
-月・金曜日：緩和ケア内科 精神担当
-外来患者数（延べ）/月 51人（H21.5）

南2階病棟以外の入院患者に対する緩和ケア
依頼患者の実人数 14人（H21.7.1現在）

院内のオピオイド管理

-緩和ケアチーム薬剤師が中心となり院内・院外の
オピオイド使用患者を把握し緩和ケア・がん相談
支援センターと連携し患者の相談に応じる支援

Ⅲ-3. 市民病院の特徴的な緩和ケア



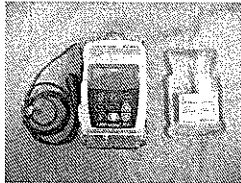
(1) 周術期の緩和ケア

【目的】術後の疼痛から患者の尊厳を守るため
PCAを導入し術後疼痛管理の質の改善

【成果】早期離床の実現
在院日数の短縮

【経緯】H17年8月より開始
H18年4月から
緩和ケア担当の麻酔科医師が
中心に定期的に回診を行う

【使用件数】（H20.4~H21.3）
静脈PCA 240件
硬膜外PCA 730件



(2) リンパ浮腫外来

【目的】がん治療やがんの進行に伴う続発性の
リンパ浮腫に対し、複合的な理学療法を
行いQOLを向上させる

【対象】乳がん、子宮がん、
前立腺がん、大腸がん

【成果】リンパ浮腫の軽減
生活の質の向上

- H20.3月開設
- 緩和ケア認定看護師専任
（医療リンパドレナージセラピスト資格保有）
- 毎週 月・金
- 患者数（H20.3~H21.5）
延べ348人 平均 23人/月



Ⅳ. 情報提供体制



緩和ケア・がん相談支援センター の機能・役割

「患者様とご家族がしたい生活を支援する」

4つの事業を通して患者様やご家族のニーズや希望に応じ
相談サービスを提供する。また、関係機関との連携体制や
患者様の医療への参画を支援する。

1. がん総合相談・情報提供
2. ストレスに対する自立支援
3. がんに関する地域連携支援
4. がん患者のサポートボランティアのコーディネート

緩和ケア・がん相談支援センターの状況

<担当する医療従事者>

- ・相談員基礎研修(3)受講済 2名
(うち 専従の常勤看護師1名 兼任の常勤看護師1名)
- ・相談員基礎研修(2)受講済 4名
(うち 専従の常勤MSWおよびPSW 1名)
- ・相談員基礎研修(1)受講済 5名
- ・他(在宅支援担当常勤看護師 1名)



<相談件数>

(H21.6.30まで延べでカウント、H21.7.1より実人数へ)
 H21.4月 面談480件、電話82件
 H21.5月 面談373件、電話20件

緩和ケア

がん相談支援センターの活動

相談・情報提供支援の他に・・・
 がんの体験を経験し生活する患者の
 問題解決能力の育成と感情の発散の支援



がん・すまいるサロン (H20.1開始)
 利用者数 延べ 21回 255人 (H21.1~H21.5)
 -毎週木曜日 開催-

がん教室(乳がん教室)
 H21.4.24開催(参加者19名) -隔月1回 開催-

お楽しみサロン(コラーージュ療法自己の内面と向き合い気づきを促す)
 H21.5より開催(参加者のべ11名) -毎月 第3月曜日-

患者会との協働(オアシスの会・ひまわりの会)
 園芸療法

IV. 院内がん登録



院内がん登録の状況

<担当する医療従事者>

- ・診療情報管理士(専従) 1名
(院内がん登録・中級者研修受講済)
- ・診療情報管理士(専任) 2名
(うち 院内がん登録・初級者研修受講中 1名)

<登録数>

H19.1~12月分 1,307件
 H20.1~9月分 867件

※H20.10月分以降、順次登録中

V. 研修

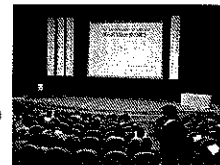


研修の実施状況 H20年度

北信緩和ケアセミナー2009
 H21.1.25、H21.2.1開催
 参加者：医師31名、
 医師以外11名



市民健康講座
 第6回 H20.5.31
 「皮膚がんについて」
 第7回 H21.2.28
 「がんの放射線治療の進歩」
 (参加者463名)



がん診療公開講座

H20.7.18「分子標的薬Overview」(87名)
 H20.10.3「日本のがん医療の目指すべきもの」(90名)
 H21.3.19「骨転移治療セミナー」(61名)

がん医療従事者研修

H20.6.9「がんの骨転移に対する治療の現状」(47名)
 H20.7.14「内臓悪性腫瘍のデルマドローム」(44名)
 H21.2.9「卵巣がんの治療」(30名)

がん寺子屋勉強会

H20 21回開催 (毎回約50名参加)

がん看護研修

院内研修 専門コース18回開催



研修の実施計画 H21年度

北信緩和ケアセミナー2009

H21.10.10~11 開催予定

市民健康講座

第8回 H21.9.12 開催予定

「“がんの時代”を生きる見識と常識」

第9回 H22.2.27 開催予定「テーマ未定」

がん診療公開講座

H21.9.12 開催予定

「がん医療に望むもの—病院と在宅の連携—」

がん医療従事者研修

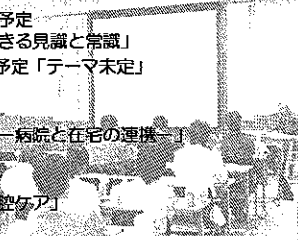
H21.7.13 開催予定

「がん化学療法中の口腔ケア」

がん寺子屋勉強会

H21.5~隔週で開催

4回開催済 (膀胱がん、乳がん、緩和ケア、抗がん剤)



VI. 地域連携



地域連携

- ・ がん患者の受け入れ数、紹介数 (H20年度)
 - 他院からの紹介 3,746件 (疑い含まず1,068)
 - 他院への紹介 5,424件 (疑い含まず1,294)
- ・ セカンドオピニオンの件数 (H20年度)
 - 他院からの紹介 16件
 - 他院への紹介 41件

**北信地域のがん診療・緩和ケア
ネットワーク作り**

【目的】

1. 地域のよりよい連携
2. 北信地方の医療従事者のがんに関する知識や実践力の向上

5大がんの地域連携パス

- ・ 運用開始 (H21.2月~)
 - 「大腸がん I-II 期連携パス」(5例)
 - 「胃がん I-II 期連携パス」(8例)
- ・ 作成中・・・乳がん
- ・ 検討中・・・肺がん、肝がん

その他のがんの地域連携パス

- ・ 「前立腺がん小線源治療連携パス」

小線源治療患者分布 (400例)

県・都	病院数	患者数
長野	34	331
山梨	8	32
新潟	7	27
石川	2	4
静岡	2	2
群馬	1	1
東京	1	1
愛知	1	1
青森	1	1

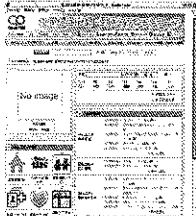
2008/12/5までに治療終了した症例

紹介率 89.8% 長野県外 17.3% 計57医療機関から来院

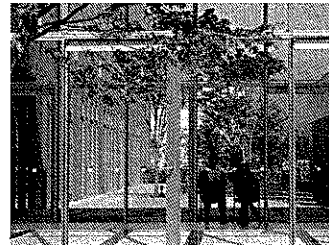
北信がん診療・緩和ケア ネットワーク作りにSNSを活用

【目的】人と人のコミュニケーションをサポートする
インターネット上のサービスを利用し、医療者同士の
繋がりをサポート

- テーマごとに自由参加し情報交換
 - 「在宅支援」
 - 「緩和ケア」
 - 「緩和ケアチーム」
 - 「地域連携バス」

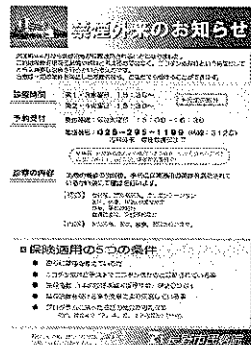


VII. その他



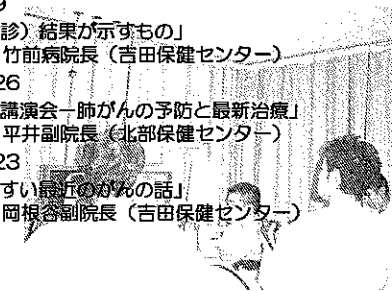
禁煙に対する取り組み

- 敷地内禁煙
H19.4月から
- 禁煙外来
H20.4月から

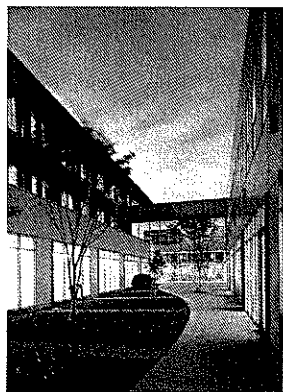


「がん予防」についての 出前講座

- H21.4.9
「健診（検診）結果が示すもの」
竹前病院長（吉田保健センター）
- H21.5.26
「がん予防講演会—肺がんの予防と最新治療」
平井副院長（北部保健センター）
- H21.6.23
「わかりやすい最近のがんの話」
阿根谷副院長（吉田保健センター）



VIII. 今後の課題



- チーム医療の実現
→がん診療チームの充実
- 患者参画型のがん診療
→相談支援センターの充実
- 地域連携と様々な医療支援の強化
→地域連携クリティカルバスの整備（乳がん、肝がん、肺がん）
公開型の臨床カンファレンスの開催
- 専門職員の育成
→日本緩和医療学会専門医の取得（平成21年予定）
緩和薬物療法認定薬剤師の取得（平成22年予定）
がん性疼痛看護認定看護師の取得（平成22年予定）
日本臨床腫瘍学会専門医
がん診療病棟「経験別看護教育プログラム」の作成

ご清聴
ありがとうございました

